



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年1月29日

上場会社名 東邦チタニウム株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5727 URL <https://www.toho-titanium.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西山 佳宏
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部企画グループマネージャー (氏名) 留場 啓 TEL 045-394-5521
 四半期報告書提出予定日 2021年2月10日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	25,728	△23.5	2,199	△15.6	376	△84.5	△145	—
2020年3月期第3四半期	33,621	7.3	2,606	△35.1	2,428	△40.3	1,599	△51.8

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 △183百万円(—%) 2020年3月期第3四半期 1,595百万円(△51.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	△2.04	—
2020年3月期第3四半期	22.48	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	91,987	47,223	51.2
2020年3月期	87,118	48,262	55.2

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 47,093百万円 2020年3月期 48,128百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
2021年3月期	—	6.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,200	△22.7	2,700	△33.6	300	△91.9	△400	—	△5.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	71,270,910株	2020年3月期	71,270,910株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	98,149株	2020年3月期	97,951株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	71,172,893株	2020年3月期3Q	71,173,120株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2020年4月1日～2020年12月31日)における我が国経済は、新型コロナウイルスの感染拡大により企業収益の悪化が続くなど、極めて厳しい状況となりました。景気の先行きについても、各種政策の効果等による持ち直しの動きが期待されるものの、感染症拡大による社会経済活動への影響が内外経済を下振れさせるリスクを注視する必要があると、不透明感の長期化が懸念される状況にあります。

当社グループの事業については、金属チタン事業において航空機業界の生産活動低下によりスポンジチタンの需要が大幅に減少するなど、依然として厳しい経営環境が続いております。

こうした中、当第3四半期連結累計期間における経営成績は、売上高257億28百万円(前年同期比23.5%減)、営業利益21億99百万円(同15.6%減)となりました。経常利益は、2019年10月にスポンジチタンの生産を開始したサウジアラビアの合弁会社に係る持分法投資損失の計上等により3億76百万円(前年同期比84.5%減)、親会社株主に帰属する四半期純損益は1億45百万円の損失(前年同期は15億99百万円の利益)となりました。

セグメントの業績は次の通りであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、当第3四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

金属チタン事業

当第3四半期連結累計期間における金属チタンの販売については、半導体用途向けは堅調であったものの、新型コロナウイルス感染症の影響等により航空機向けが落ち込み、一般工業向けも低調であったことから、全体としては前年同期を大きく下回る水準で推移しました。

スポンジチタンの生産に関しては、需要の減少を受け国内拠点において2020年5月より減産する操業体制としました。

また、原料となるチタン鉱石価格は高止まりが継続しております。

こうした状況のもと、同期間の金属チタン事業は、売上高は123億17百万円(前年同期比44.9%減)、営業利益は96百万円(同90.9%減)となりました。

触媒事業

当第3四半期連結累計期間の触媒事業の販売については、主要製品であるプロピレン重合用触媒の市場において、自動車用途向けポリプロピレンの需要に弱さが見られたものの、包装用途・医療用途向けが好調に推移したことなどにより、前年同期並みの水準となりました。

こうした状況のもと、同期間の触媒事業は、売上高は52億54百万円(前年同期比6.3%減)、営業利益は20億68百万円(同4.4%減)となりました。

化学品事業

当第3四半期連結累計期間の化学品事業の販売については、主要製品であるニッケル粉に関して、前半において車載向け等の需要減速の影響を受けましたが、その後の回復に加え通信関連用途需要が立ち上がり、前年同期を上回る水準となりました。

こうした状況のもと、同期間の化学品事業は、売上高は81億55百万円(前年同期比44.2%増)、営業利益は22億7百万円(同84.0%増)となりました。

セグメント別連結売上高

(単位：百万円)

区分	2021年3月期 第3四半期	2020年3月期 第3四半期	増減率
金属チタン事業	12,317	22,354	△44.9%
触媒事業	5,254	5,611	△6.3%
化学品事業	8,155	5,655	44.2%
合計	25,728	33,621	△23.5%

セグメント別連結営業利益

(単位：百万円)

区分	2021年3月期 第3四半期	2020年3月期 第3四半期	増減率
金属チタン事業	96	1,054	△90.9%
触媒事業	2,068	2,164	△4.4%
化学品事業	2,207	1,199	84.0%
全社費用	△2,173	△1,811	—
合計	2,199	2,606	△15.6%

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、売掛債権等の減少はありましたが、たな卸資産の増加等により、前連結会計年度末比48億69百万円増の919億87百万円となりました。

負債の部は、借入金の増加を主因に、前連結会計年度末比59億9百万円増の447億64百万円となりました。

純資産の部は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上や配当金の支払い等により、前連結会計年度末比10億39百万円減の472億23百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の55.2%から51.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、前回予想(2020年7月30日)を変更しておりません。

連結業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

なお、当社が出資するサウジアラビアのスポンジチタン製造会社は、コロナ禍による需要の減退等を受け操業計画の見直しを行い、現在、これを踏まえた固定資産の減損に関する検討を進めておりますが、公表済の連結業績予想には、当該固定資産の減損による影響額は織り込んでおりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,641	1,779
受取手形及び売掛金	7,455	6,859
電子記録債権	49	62
商品及び製品	12,696	18,258
仕掛品	6,073	5,164
原材料及び貯蔵品	5,905	9,612
未収入金	2,993	2,199
その他	685	368
流動資産合計	38,502	44,304
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	12,414	12,265
機械装置及び運搬具（純額）	19,836	19,258
工具、器具及び備品（純額）	200	280
土地	2,219	2,219
リース資産（純額）	3,193	2,810
建設仮勘定	2,861	4,883
有形固定資産合計	40,725	41,717
無形固定資産		
ソフトウェア	136	133
ソフトウェア仮勘定	764	993
その他	44	39
無形固定資産合計	945	1,166
投資その他の資産		
投資有価証券	6	6
関係会社株式	3,731	2,122
繰延税金資産	2,392	1,920
退職給付に係る資産	82	89
その他	733	662
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	6,944	4,798
固定資産合計	48,616	47,682
資産合計	87,118	91,987

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,450	2,241
短期借入金	19,581	22,761
リース債務	524	481
未払法人税等	380	122
賞与引当金	962	272
役員賞与引当金	92	0
その他	2,134	2,116
流動負債合計	26,125	27,997
固定負債		
長期借入金	8,823	13,197
リース債務	2,748	2,392
資産除去債務	1,158	1,176
固定負債合計	12,729	16,767
負債合計	38,855	44,764
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,963	11,963
資本剰余金	13,022	13,022
利益剰余金	23,721	22,722
自己株式	△76	△76
株主資本合計	48,630	47,631
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	9	3
為替換算調整勘定	△422	△509
退職給付に係る調整累計額	△88	△31
その他の包括利益累計額合計	△501	△537
非支配株主持分	133	129
純資産合計	48,262	47,223
負債純資産合計	87,118	91,987

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	33,621	25,728
売上原価	26,469	19,316
売上総利益	7,152	6,411
販売費及び一般管理費	4,545	4,211
営業利益	2,606	2,199
営業外収益		
物品売却益	14	13
その他	31	68
営業外収益合計	45	81
営業外費用		
支払利息	127	122
持分法による投資損失	—	1,598
為替差損	35	135
その他	60	47
営業外費用合計	223	1,904
経常利益	2,428	376
特別利益		
固定資産売却益	0	79
特別利益合計	0	79
特別損失		
固定資産除却損	159	36
特別損失合計	159	36
税金等調整前四半期純利益	2,269	419
法人税、住民税及び事業税	236	103
法人税等調整額	426	463
法人税等合計	663	566
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,606	△147
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	6	△2
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	1,599	△145

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,606	△147
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	—	△5
為替換算調整勘定	△3	0
退職給付に係る調整額	△6	24
持分法適用会社に対する持分相当額	—	△55
その他の包括利益合計	△10	△36
四半期包括利益	1,595	△183
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,589	△181
非支配株主に係る四半期包括利益	6	△2

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

繰延税金資産の回収可能性の判断等の会計上の見積りについては、当第3四半期連結会計期間末日現在で入手可能な情報に基づき行っておりますが、新型コロナウイルス感染症の影響を含む先行きの見通し等の見積りに用いた仮定に、第2四半期末から重要な変更はありません。

なお、不確実性の高い当該仮定に変化が生じた場合には、当連結会計年度の当社グループの財政状態、経営成績に影響が及ぶ可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	金属チタン 事業	触媒事業	化学品事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	22,354	5,611	5,655	33,621	—	33,621
セグメント間の内部売上高 又は振替高	978	—	6	985	△985	—
計	23,333	5,611	5,661	34,606	△985	33,621
セグメント利益	1,054	2,164	1,199	4,418	△1,811	2,606

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,811百万円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	金属チタン 事業	触媒事業	化学品事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	12,317	5,254	8,155	25,728	—	25,728
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,033	—	1	1,035	△1,035	—
計	13,351	5,254	8,156	26,763	△1,035	25,728
セグメント利益	96	2,068	2,207	4,372	△2,173	2,199

(注) 1. セグメント利益の調整額△2,173百万円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は、2020年4月1日付で、事業分野・事業特性の違いを踏まえ、従来の「機能化学品事業統括本部」を廃し、「触媒事業部」及び「化学品事業部」を置きそれぞれ独立して事業運営する組織変更を行っております。

本組織変更に伴い、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントを従来の「金属チタン事業」「機能化学品事業」から、「金属チタン事業」「触媒事業」「化学品事業」に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後のセグメント区分に基づき作成したものを記載しております。